算数科　小学校　２年

単元名「かくれた数は　いくつ」
啓林館　「わくわく算数２上」

詳しい単元計画はこちら

単元の流れ（全５時間）

CLICK

単元目標
○逆思考を必要とする問題について、数量の関係を線分図（テープ図）をもとに考える。

主な学習内容
◇第１時　ブロックを操作して、数量の関係を表し、「はじめの人数」を求める。

「活用」の力育成のために
いろいろな考え方を出し合い、考えを深める。（ポイント①③）

主な学習内容
◇第２時　数量の関係をブロック、帯図、テープ図と順に表し、「はじめの人数」を求める。

「活用」の力育成のために
自分の考えを書いて、相手に分かりやすく話す。
（ポイント①②③）

主な学習内容
◇第３時　数量の関係をテープ図にかき、「配った数」を求める。

「活用」の力育成のために
よりよい問題解決の方法について、考えを書きまとめることにより思考を深める。（ポイント④）

主な学習内容
◇第４時　数量の関係をテープ図にかき、「増えた数」を求める。

「活用」の力育成のために
自分の考えを書いて、相手に分かりやすく話す。
（ポイント①②③）

主な学習内容
◇第５時　既習事項の復習
評価問題・自己評価

CLICK
評価問題

HOME　本時の流れへ

単元構成の意図

これまで児童は、問題文を読んでブロックを操作して解く方法を学んできた。しかし、この方法では数量関係を把握することが難しい。そのため、より難易度の高い問題を解く手がかりとして、テープ図を活用できるようにする。

また、相手によく分かるように、自分の考えたことを筋道を立てて話すことに課題がみられる。そこで、授業の中で説明する場面を多く設定し、相手意識をもって自分の考えを表現することを大切にした。

「活用」の力を育てるポイント

①問題解決の過程を重視し、それぞれの児童が図や言葉（文章）、式などに表すことを通して思考を深める時間を確保する。
②友達の考えを聞き、違いを認める態度を育成する。
③話合いを通して自分の考えを深めさせる。
④本時のめあてを明確にして、本時の学習について、書くことを通して振り返る時間を確保する。